

技術革新委員会 技術革新部会

1. 目的

- ・先進技術としてCAMBRIC (Cloud, AI, Mobility, Big data, Robotics, IoT, Cyber Security) の7つの成長分野の情報や、先進事例を発信する。
- ・IPAなど関係諸団体と交流し、技術分野におけるJISAのステータス向上に取り組む。

2. 活動内容

- (1) CAMBRIC個々の現状、将来、普及に向けた課題を整理する
 - ・CAMBRICについて、有識者へのヒアリングやSIビジネスにおいて活用した事例の研究
- (2) CAMBRICの相互関係や連携に着目して、価値創出に向けたステークホルダーとの協業促進について検討する
 - ・ユーザー企業、分野横断的知識領域（システムズエンジニアリング、プロジェクトマネジメント、デザイン思考など）の有識者へのヒアリングと事例の研究
- (3) 関係諸団体と交流し、技術分野におけるJISAのステータス向上に取り組む。
 - ・IPA：システムズエンジニアリング、AI、サイバーセキュリティ
 - ・PMI日本支部：プロジェクトマネジメント、アジャイル
 - ・ロボット革命イニシアティブ協議会：ロボティクス、SoS

3. 部会長

(株)NTTデータ 技術革新統括本部 企画部 テクノロジー・ストラテジスト 博士 端山 毅

4. 委員資格

JISA会員企業における先進技術・新技術に関する研究・開発・実装部門の方
当該領域における有識者

5. 会合の頻度及び委員の作業

会合は、月1回程度

作業は、対象事例に関する情報提供、調査に際しての調整、課題整理・とりまとめ

6. 事務局担当

大原 道雄 (mohara@jisa.or.jp)

技術革新委員会 技術革新部会 情報技術マップグループ

1. 目的

情報技術マップは、技術者へのアンケート調査を通じて、現状の技術への取り組み状況、具体的には、技術を利用した実績や、今後の着手意向を調査分析する事で、情報サービス産業界としての現状と今後の方向性を明らかにしようとする事を目的としています。

2. 活動内容

SIにおける要素技術の成熟度(利用実績や認知度など)を調査し報告書にとりまとめます。(調査概要は[こちら](#)を確認下さい)

【具体的には】

- ・カテゴリ毎で本年度調査対象とすべき要素技術の検討
- ・JISA会員向けの調査実施（Webアンケートの実施）
- ・技術の利用実績や利用意向、認知度指数などの集計
- ・調査結果について担当カテゴリに属する技術の動向について報告書とりまとめ

調査結果は、毎年[日経コンピュータ](#)にも取り上げられ、業界内外からも非常に注目されている調査となります。

3. 幹事

みずほ情報総研(株) 経営・ITコンサルティング部 山口 陽平

4. 委員資格

- ・情報技術マップ調査に関心があること
- ・当業界の要素技術について専門性、知見を有すること
- ・技術への取組に関する自社の現状を紹介できること

5. 会合の頻度及び委員の作業

会合は、月1回程度

作業は、技術の情報提供や報告書の原稿執筆

6. 事務局担当

大原 道雄 (mohara@jisa.or.jp)

1. 目的

要求工学に関する事例研究と情報共有を行う。

2. 活動内容

- ・ 要求開発事例の研究
- ・ 要求開発研究の調査、講演

3. 幹事

東芝デジタルソリューションズ(株) ソリューションセンター 北川 貴之

4. 委員資格

※要求開発、要求工学に関心のある方ならどなたでも参加出来ます。

- ・ 要求工学を活用した事例について情報収集したい方
- ・ 要求工学に関連する技術について意見交換したい方

5. 会合の頻度及び委員の作業

年度内に2～3回程度

6. 事務局担当

山本 英己 (yamamoto@jisa.or.jp)

1. 目的

アジャイル開発の現状と課題を把握分析し、アジャイル開発を中心に新しい開発プロセスのあり方について取り組む。

2. 活動内容

- ・アジャイル開発に関するメンバ各社の事例を共有する。
- ・JISA会員のアジャイル開発における現状把握を目的としたアンケートを企画、実施する。
- ・アジャイル開発の普及に資するセミナーの企画、運営を行う。
- ・他団体、アジャイルコミュニティと連携する。

3. 幹事

NECソリューションイノベータ(株)エンジニアリング推進本部 主任 安藤 寿之
リコーITソリューションズ(株) ビジネスソリューション事業部 アジャイルエバンジェリスト 福田 朋紀

4. 委員資格

- ・アジャイル開発に関心があること
- ・アジャイル開発の取組について自社の現状を紹介できること

5. 会合の頻度及び委員の作業

- ・会合頻度は年5～6回程度
- ・2の活動内容に関する作業

6. 事務局担当

辻村 朋大 (tsujimura@jisa.or.jp)

技術革新委員会 サイバーセキュリティ部会

1. 目的

安全なIT社会に向けたサイバーセキュリティ対策について検討する

2. 活動内容

- ・ 中小企業向けサイバーセキュリティ対策指針の普及等
- ・ 上記対応指針をもとにした対策の有効性評価の方法について検討

3. 部会長

(株)網屋 取締役 柴崎 正道

4. 委員資格

- ・ JISA会員企業の情報セキュリティ責任者、社内CERT関係者、セキュリティポリシー立案者、セキュリティ管理者、その他情報セキュリティ有識者
- ・ 部会内における情報交換のために書面による機密保持に同意して頂けること。
- ・ 脅威、インシデントに関する対応例や考え方を発表できること。

5. 会合の頻度及び委員の作業

原則として2ヶ月に1回程度を予定。

6. 事務局担当

山本 英己 (yamamoto@jisa.or.jp)

国際連携委員会 国際連携部会

1. 目的

アジアでのプレゼンス向上、グローバルビジネスの推進

2. 活動内容

- ・ 中長期視点でのグローバルビジネスの検討、課題整理
- ・ 上記対応指針をもとにした対策の有効性評価の方法について検討

3. 部会長

(株)NTTデータ 中国APAC事業推進部長 関 秀敏

4. 委員資格

JISA会員企業のグローバルビジネス責任者、実務者、その他国際ビジネスに関心のある方、有識者

5. 会合の頻度及び委員の作業

部会会合は年3回程度。

そのほか、グローバルビジネスグループ（人材、交流機会担当）ならびにパブリックポリシーグループ（国際公共政策等）の会合を随時実施予定。

6. 事務局担当

河内 淳子（kawauchi@jisa.or.jp）、山本 英己（yamamoto@jisa.or.jp）

企画連携委員会 個人情報保護タスクフォース

1. 目的

会員企業のビジネスに関わる個人情報保護法制度に関する疑問に共同して対応し、産業界として必要な意見を政府や他団体、海外（国際連携部会と協力）に対して示し、ビジネス環境を整備して、個人情報の適切な扱いを企業の競争力向上に結びつけるための活動を行う。

2. 活動内容

- ・国内の個人情報保護法関連制度について、見直しに関する情報収集、意見交換、周知活動を行う
- ・必要に応じて経団連、JEITA、JIPDEC（プライバシーマーク、APECのCBPR）、OECD、ICC、ABACなどの関連団体と連携の上、関係省庁/団体に産業界としての意見や要望を提出する。
- ・国際連携部会 パブリックポリシーグループと連携し、海外の個人情報保護関連法制度との関係や調和について、意見交換を行い、国内外の関係団体等と連携の上、意見や要望を提出する。
- ・AIやIoT、ブロックチェーンなど新たな技術を事業に活用する際の個人情報の扱い、逆に最新技術を使った個人情報保護の向上などについての情報を共有する

3. 幹事

横澤 誠（（株）野村総合研究所）

4. 委員資格

社内における個人情報保護に関する担当者、有識者、法務担当者ほか

5. 会合の頻度及び委員の作業

他団体との活動を通じた最新の情報提供（個人情報保護委員会、JIPDEC、OECD、APEC、各国IT団体など）を年に2-3回配信。その他、メールで意見交換、会合等を実施

6. 事務局担当

河内 淳子（kawauchi@jisa.or.jp）、増田 菜里子（nmasuda@jisa.or.jp）

未来の学びを考えるコミュニティ（プログラミング教育）

1. 目的

小中高のプログラミング教育充実に資する活動を行う。

2. 活動内容

- ・「未来の学びコンソーシアム」運営協議会等の情報共有
- ・小学校プログラミングワークショップボランティア活動の企画・運営
- ・将来のプログラミング教育に関する業界意見の取りまとめと発信
- ・有識者ヒアリング
- ・当業界における将来のIT人材獲得に向けた環境整備

平成30年度は、JISA会員企業が持つ小学校向け教育コンテンツを教育業界へ普及促進するため、文部科学省との意見交換を経て子供プログラミング図書10冊を寄贈を小学校の図書館に寄贈するプロジェクトを立ち上げ、200校へ寄贈し小学校とJISA会員企業との間に、「架け橋」を作った。今後、その「架け橋」を起点として、出前授業やJISA会員を対象としたメンター募集の企画・運営、中学校・高等教育を含めたプログラミング教育の普及促進について検討する。

3. 幹事

(当協会副会長、文科省管轄：未来の学びコンソーシアム運営協議委員)
島田俊夫 ((株)CAC Holdings 特別顧問)

4. 委員資格

- ・小学校プログラミングワークショップに関連するボランティア活動が可能な方、もしくは所属会社にてボランティア活動参加者の普及活動が可能な方
 - ・上記に関わらず、小中高におけるプログラミング教育の普及、促進に興味のある方
- ※プログラミング教育の経験は問いません。

5. 会合の頻度及び委員の作業

- ・会合は年4回程度。
- ・JISA会員企業の教育プログラムを教育界へ普及促進するためのコンテンツ作成
- ・小学校プログラミングワークショップの企画・運営 など

6. 事務局担当

溝尾元洋 (mmizoo@jisa.or.jp)